

平成17年度事業計画書

1 保存普及事業（寄附行為 第4条第1号該当）

(1) 鉄道遺産等普及事業

明治26年(1893)横川・軽井沢間に官設鉄道が開通して以来100年余に亘り育まれてきた鉄道文化は、今も多くの重要な施設と人材を残している。めがね橋や旧丸山変電所などの重要文化財だけではなく、ED42やEF63等の電気機関車に代表されるハード部分の遺産と、旧国鉄職員に代表されるソフト部分の遺産も、当該地域には残されている。これらの豊富な遺産を活用し、広く情報収集を行い、定期的に「紀要」を発行する。この「紀要」の積み重ねにより、碓氷峠文化の集大成を目指す。

甦る碓氷線 「鉄路が峠を越えた 一峠の鉄路を支えた人々 No.7-1」
所要経費 300千円

(2) 情報発信事業（寄附行為 第4条第2号該当）

① 碓氷峠を紹介する資料の発行

歴史と自然の豊かな碓氷峠を広く紹介するための資料とするとともに碓氷峠を散策するガイドブックとしても役立つ資料発行を行う。

峠ウォッチング「碓氷線絵地図」 所要経費 350千円

② インターネットホームページの開設

インターネットのホームページを開設し、碓氷峠周辺の情報を提供する。
所要経費 340千円

(3) 交流事業（寄附行為 第4条第2号該当）

① 遺産とふれあう交流事業「碓氷線ウォーキング」の開催

めがね橋や旧丸山変電所、旧中山道、坂本宿、碓氷湖等の鉄道及び街道遺産や自然景観を、見ながら当時のエピソード等を聞き「峠の歴史」にふれてもらうため、アプトの道ウォーキングトレイルや自然遊歩道を利用してウォーキングを実施する。旧国鉄職員等の同行により身近な歴史を体感していただく。「碓氷線を訪ねて」5月及び10月 所要経費 190千円

② 地域ふれあい塾の開催

自然あふれる当地域の特性を生かし、都会と農村の人々のふれあいの場としてくつろぎの郷を活用し、当地域の郷土料理や押し花教室等を開催し人々の交流を深める。

所要経費 300千円

③ 第6回碓氷峠紅葉祭俳句大会の開催

碓氷峠は古来より、紅葉の美しさでも知られ、唱歌「もみじ」の作詞の場でもある。その峠の四季の美しさを俳句で表現することにより、峠の自然また歴史等について理解を深めてもらう。

公募・俳句大会 11月3日 所要経費 250千円

④ 碓氷峠鉄道文化むら友の会の運営

財団の趣旨に賛同される方から会費（個人2,000円）を募り「友の会」を運営。会員には、機関誌「とうげ」を配布する。

機関誌「とうげ」A4版 4回発行予定 所要経費 450千円

- ⑤ 碓氷峠に関連する各種事業への協力
関係機関等で実施する碓氷峠に関わる諸事業に協力する
- ⑥ 町民の憩いの場とし町内居住者の交流館（峠の湯）利用者の利便を図る。
70歳以上の高齢者へ3時間割引券12枚の配布、全世帯への3時間割引券10枚を配布し地域のコミュニケーションの場とする。

4 公共施設の管理運営事業（寄附行為 第4条第3号該当）

① 碓氷峠鉄道文化むら管理運営事業

所要経費 124,400 千円

- 「碓氷峠鉄道文化むら」の適切な管理運営を実施する。
- EF63形電気機関車並びディーゼル機関車の運転体験事業
機関車を運転するという鉄道ファンの「夢」を実現し、鉄道への理解を深めるため、希望者への講習および運転体験を行う。
- トロッコ列車の運行管理事業
鉄道文化むらから交流館(峠の湯)間に園内遊具としてトロッコ列車を運行し両施設利用の促進を図る。
- 記録映画、映像の上映会
鉄道の変遷を理解してもらうため、鉄道に関わる貴重な記録映画および貴重な映像を上映する。
- 施設及び設備等の点検修理、並びに屋外展示車両の塗装及び修理等の実施。
- 鉄道記念日等のイベント実施。季節のイベント、キャンペーンの実施。.

② 碓氷峠の森公園「交流館」管理運営事業

所要経費 115,010 千円

- 「交流館」の適切な管理運営を実施する。
- 福祉シャトルバス・送迎バスの運行事業
町民の交流館利用促進と町民福祉の向上にむけはかるため、定期的なシャトルバス及び送迎バスを運行する。
- 季節のイベント、キャンペーンの実施。.

③ 碓氷峠の森公園「くつろぎの郷」管理運営事業

所要経費 16,070 千円

- 「くつろぎの郷」の適切な管理運営を実施する。
- 体験教室（草木染め・郷土料理等）並びにスポーツ大会等の実施。
- 季節のイベント、キャンペーンの実施。